

令和7年11月20日（木）

益田市立益田東中学校

授業者 教諭 俵 和子

ALT ライト ジュリア アリーナ

1 単元名 私たちのクラスのアンケート結果を海外の同学年の生徒に紹介しよう
(New Horizon English Course2 Unit6 How can we make a good presentation?)

2 単元の目標

海外に住む同学年の生徒に、お互いの国をリアルに、よりよく知ってもらうために、互いに知りたい話題についてアンケート調査を行い、調査結果をもとに事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて聞き手に分かりやすく伝えるプレゼンテーションを行うことができる。

3 関連する学習指導要領における領域別目標

話すこと 【発表】	イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。
--------------	---

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 【発表】	・比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・クラス内でアンケート調査を行い、調査結果をもとに事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話す技能を身につけている。	・海外に住む同学年の生徒に、お互いの国をリアルに、よりよく知ってもらうために、互いに知りたい話題についてアンケート調査を行い、調査結果をもとに事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりある内容を話している。	・海外に住む同学年の生徒に、お互いの国をリアルに、よりよく知ってもらうために、互いに知りたい話題についてアンケート調査を行い、調査結果をもとに事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりある内容を話そうとしている。

5 学習の基盤

(1) 教材について

本単元の教材は、比較表現を用いて自分の考えや調査結果を整理し、相手にわかりやすく伝える力を育てることを目的としている。教科書『New Horizon2 Unit6 “How can we make a good presentation?”』では、エディが好きなスポーツについてクラスメイトにアンケートを行い、その結果をグラフで整理し発表するという題材を通して、学習者が「どのようにすれば聞き手にわかりやすく伝えられるか」を考えながら英語を活用する活動が展開されている。

この教材は、単なる文法事項の学習ではなく、「データを比較し、結果を説明する」という言語機能を中心に据え、英語を使って思考を整理する力を育てる点に特徴がある。グラフを提示しながら“**Soccer is more popular than baseball.**” “**Basketball is the most popular sport.**” などと述べる過程で、生徒は具体的な数値や理由を

もとに意見を組み立てる練習ができる。授業では ICT を活用し、生徒自身が作成したデジタルグラフやスライドをもとに発表することで、より実感をもって比較表現を使いこなすことができるようにする。

また、小学校で大切にしてきた「聞き手を意識して伝える学び」を発展させ、**Eye Contact・Smile・Clear Voice** の姿勢を生かした実践的な発表活動へとつなげる。単に結果を述べるだけでなく、「なぜそう思うのか」「どのようにすればもっと伝わるか」といった問いを通して、思考の深まりと表現の工夫を促す教材である。

(2) 生徒について

個人情報保護のため省略

(3) 指導について

本単元では“**How can we make a good presentation?**” という問いを通して、自分の考えを整理し、相手にわかりやすく伝える力を育てることを目指す。授業の中心に据えるのは、小学校から一貫して大切にしてきた3つの姿勢、①**Eye Contact**（聞き手を見て話す）②**Smile**（笑顔で話す）③**Clear Voice**（はっきりとした声で話す）である。これらは「伝わる発表」の基礎であり、中学校ではそれを土台に、内容の論理性・表現の効果性・聞き手との関係性を意識した発表へと発展させる。

生徒が互いの発表を聞き合い、良い点をフィードバックし合う過程そのものが、言語活動の充実と学びの深化つながると考える。教師は **ALT** との協働により多様な英語表現モデルを提示するとともに、ルーブリックやアドバイスシートを活用して、生徒自身が目標を見通し、到達度を自己評価できるよう支援する。

このような学びの循環を通して、生徒は「自ら課題を見つけ、よりよく伝えようと工夫する姿」を身につけていく。こうした実践は、本校の研究主題「自ら学ぶ」を具現化するものであり、小学校で大切にしてきた **Eye Contact・Smile・Clear Voice** を学びの基礎として、英語学習を通して他者とつながりながら、自分の考えをよりよく表現しようとする生徒の育成を目指したい。

6 研究との関連

本校の研究主題 「自ら学ぶ」

7 単元の指導計画と評価計画

時	○ねらい・主な学習活動	評価			
		知	思	主	形成的評価・評価方法等
1	<p>○身近なものについて比較し、ペアでクイズを出し合うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元目標と単元末の活動を理解し、単元のゴールの姿をイメージする。 ・グラフを見ながら、どんなことを言うことができればこの単元のゴールのプレゼンテーションができるのか考える。 ・比較表現の用法 (-er, -est) を理解する。 ・本文の内容を理解する。 ・比較表現を用いたクイズを作り、ペアで伝え合う。 				<p>記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。生徒の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が生徒の学習状況を確認する。</p>
2	<p>○一番おもしろいと思うスポーツについて、ペアで伝え合ったり、それについて質問したりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師とやりとりを行う。 ・比較表現 (more, the most) の用法を理解する。 ・本文の内容を理解する。 ・比較表現を用いて、友だちとやりとりを行う。 				
3	<p>○最も好きな食べ物について伝え合ったり、グラフからわかることを伝え合ったりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師とグラフを見ながらやりとりを行う。 ・better, best, as-as の使い方・用法を理解する。 ・友だちとやりとりを行う。 ・どんなトピックがあるか紹介する。 ・グループでトピックを決定する。 				
4	<p>○海外の生徒が知りたいトピックについて調査をし、調査結果を発表資料としてまとめることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな英語を使ってアンケートをとるか、グループで相談する。 ・ICTを活用してデータを整理し、視覚的にわかりやすい資料を作成する。 				

5		<p>○どうすればよいプレゼンテーションを行うことができるかについて、自分の考えをもつことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデルとなるプレゼンテーションを視聴し、どんな点がよかったかを考える。 ・プレゼンテーションを行う上で大切なポイントについて、ルーブリックを示しながら考える。 ・本文を読み、自分のプレゼンテーションに使えるフレーズや表現を見つける。 				
6		<p>○プレゼンテーション資料を各自で作成し、ペアで発表することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書や今までの既習表現を参考にプレゼンテーション資料を各自で完成させる。 ・ペアで伝え合う。 				
7	発表・	<p>○発表の効果的な方法について考えるために、発表の内容について評価する文章の概要を捉えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルーブリックを示しながら、評価の観点をもう一度確認する。 ・本文の内容を理解する。 ・各自でプレゼンテーション資料を再考し、練習する。 				記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。生徒の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が生徒の学習状況を確認する。
8 (本時)	相互評価	<p>○よいプレゼンテーションにするために、お互いのプレゼンテーションを聞き合いながら、ブラッシュアップすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションを行う上で大切なことを再度確認する。 ・グループを変えながら、プレゼンテーションを行い、お互いに質問したり、アドバイスシートを書いたりする。 ・友だちや教師からのアドバイスを聞き、よりよいプレゼンテーションにする。 				
9		<p>○海外の学生に向け、クラスのアンケート調査結果をプレゼンテーションすることができる。(録画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT に視聴してもらいフィードバックをもらう。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・海外に住む同学年の生徒に、お互いの国をリアルに、よりよく知ってもらうために、互いに知りたい話題についてアンケート調査を行い、調査結果をもとに事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりある内容を話している。(録画)
後日		ペーパーテスト	○			

7 本時の学習

(1) 本時の目標

よりよいプレゼンテーションにするために、お互いのプレゼンテーションを聞き合いながら、ブラッシュアップすることができる。

(2) 本時の展開

時	生徒の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
導入 10min	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ スモールトークをする。 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする。 英語でやりとりをしながら、学習へ向かう雰囲気を作る。 使える表現を紹介し、全体で共有する。 	PC
展開 35min	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>Let's brush up each other's work to make a good presentation.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションで大切にしたいことを3つ確認する。 アドバイスシートの説明を聞き、教師とALTのデモンストレーションを見る。 個人練習をする。 グループになり、発表資料を用いて順番にプレゼンテーションをおこなう。 アドバイスシートを書く。 グループを変えて自分のプレゼンテーションを行う。 1 or 2 グループのプレゼンテーションを全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習に見通しをもてるようにする。 視覚的にわかるものと、ループリックを見ながら、生徒がプレゼンテーションをする時に気を付けたいことを明確にする。 お互いにどのように発表し、アドバイスするのかわを示す。ALTは助言モデルも示す。 机間支援を行い、表現の仕方に困っている生徒を支援する。 ◎よりよいプレゼンテーションにするために、お互いのプレゼンテーションを聞き合いながら、ブラッシュアップするための練習やアドバイスをしている。〈行動観察、アドバイスシート〉 もらった感想やアドバイスを生かし、さらに良い発表になるように声掛けを行う。 良かった点を全体で共有する。よりよいプレゼンテーションにするためのフィードバックを行う。 	PC アドバイ シート
5 min	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめを行う。 アドバイスシートを見ながら、自己評価を行う。 何人かの生徒が本時の振り返り、気づきを発表する。 次回の活動を確認する。 あいさつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の練習での気づきを全体で共有することで、自分で気づけなかったことにも目を向けるような声掛けを行う。 次回の活動を予告し、見通しをもつことによって意欲を高め授業を終える。 あいさつをする。 	

(3) 本時の評価

十分満足できると判断される生徒の姿	おおむね満足と判断される生徒の姿	支援を要すると判断される生徒への手立て
<p>クラスのアンケート調査結果のプレゼンテーションをよりよいものにするために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、適切な語句や文を用いてまとまりある内容を話す技能を身につけている。</p>	<p>クラスのアンケート調査結果のプレゼンテーションを事実や自分の考え、気持ちなどを伝え、簡単な語句や文を用いて内容を話す技能を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な口頭練習を行い、発話に対する苦手意識を取り除いてから、コミュニケーション活動に取り組ませる。 ・作成した資料を見て、言葉のまとまりを意識して発表するように支援を行う。
<p>十分満足できると判断される生徒のプレゼン (例)</p>	<p>おおむね満足と判断される生徒のプレゼン (例)</p>	
<p>My survey was about sports. 【2種類のグラフを示しながら】 I asked our classmates this question: "Do you like sports?" Then we asked the "Yes" group, "What is your favorite sport?" Please look at these graphs. According to our results, about 80 percent of our classmates like sports. As for favorite sports, 12 of our classmates like basketball the best. Seven of them like tennis the best. Soccer is as popular as tennis. Six like other sports, such as baseball, volleyball, or curling. In conclusion, I found that basketball is the most popular sport in our class. And I was surprised to find that tennis is more popular than volleyball. I think that volleyball is the most interesting sport of all. What sport is popular in your class? Thank you.</p>	<p>My survey was about sports. 【2種類のグラフを示しながら】 I asked our classmates these questions: "Do you like sports? What is your favorite sport?" Please look at these graphs. About 80 percent of our classmates like sports. As for favorite sports, 12 of our classmates like basketball the best. Seven of them like tennis the best. Soccer is as popular as tennis. In conclusion, I found that basketball is the most popular sport in our class. What sport is popular in your class? Thank you.</p>	